

【2026 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
子ども家庭福祉		選択	2	2.3	
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
渡邊 隆文	B307	t.watanabe	水曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	<p><目的>本科目は、子どもを取り巻く家庭や社会環境の現状について理解し、現代社会における子どもに関する諸課題を身近な視点から捉え、自分の考えを他者に説明できる力を養うことを目的とする。</p> <p><概要>本講義はオンデマンド授業（遠隔授業・自主学習型）として実施する。子どもの貧困や虐待、教育、ヤングケアラーなどのテーマを取り上げ、身近な事例や社会の出来事と関連付けながら子どもを取り巻く社会環境について理解する。日常生活と結びつけて考え、自分の意見を整理する力を養う。</p>				
授業形式・方法	<input type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・デベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	本講義はオンデマンド形式で実施されるため、各回の動画を計画的に視聴し、期限内に課題へ取り組むことが求められる。授業内容を日常生活やニュースと関連付けながら理解し、自分の考えを整理することが重要である。各回の課題を通して主体的に学習を進めてほしい。				
教科書	なし。				
参考書	なし。				
外部教材	なし。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	子どもを取り巻く家庭や社会環境について理解し、その特徴を説明することができる。			HSU(2)、HC(5)	
②	子どもが直面する社会課題について理解し、その背景を説明することができる。			HSU(5)、HC(3)	
③	多様な立場や価値観を踏まえ、子どもに関する課題を多角的に捉えることができる。			HSU(4)、HC(2)、(3)	
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	子どもとは何か①: 子どもの意味や社会の中での位置づけを理解し、子どもがどのように捉えられてきたのかを整理する。	オンデマンド	指定課題に取り組み提出する	4	
2	子どもとは何か②: 子どもの成長の特徴と、家族や周囲の人との関係の中で育つ過程について理解を深める。	オンデマンド	指定課題に取り組み提出する	4	
3	子どもを取り巻く環境①: 家庭・学校・地域が子どもに与える影響と、それぞれの役割や関係について理解する。	オンデマンド	指定課題に取り組み提出する	4	
4	子どもを取り巻く環境②: 現代の家族の多様化と子育ての変化について学び、家庭環境の影響について考える。	オンデマンド	指定課題に取り組み提出する	4	
5	子どもを取り巻く環境③: 子育ての孤立が生じる背景を理解し、社会的支援の必要性について考える。	オンデマンド	指定課題に取り組み提出する	4	
6	子どもに関する社会課題①: 子どもの貧困の現状と社会的背景について理解し、生活への影響について考える。	オンデマンド	指定課題に取り組み提出する	4	
7	子どもに関する社会課題②: 教育環境の違いによる格差と、その影響が子どもに与える影響について理解する。	オンデマンド	指定課題に取り組み提出する	4	
8	子どもに関する社会課題③: 児童虐待の現状とその背景を理解し、社会的な課題としての側面について考える。	オンデマンド	指定課題に取り組み提出する	4	
9	子どもに関する社会課題④: ヤングケアラーの実態と課題について理解し、見えにくい問題として考える。	オンデマンド	指定課題に取り組み提出する	4	
10	子どもに関する社会課題⑤: いじめや孤立など子どもの関係性に関する課題について理解し、その背景を考える。	オンデマンド	指定課題に取り組み提出する	4	
11	子どもを支える支援①: 子ども支援の基本的な考え方と支援の視点について理解し、支援のあり方を考える。	オンデマンド	指定課題に取り組み提出する	4	
12	子どもを支える支援②: 子どもの居場所の役割と重要性について理解し、安心できる環境の必要性を考える。	オンデマンド	指定課題に取り組み提出する	4	
13	子どもを支える支援③: 地域社会と子どもの関係を理解し、地域における支援の役割について考える。	オンデマンド	指定課題に取り組み提出する	4	
14	子どもの未来と社会①: これからの社会における子どもの位置づけについて理解し、未来のあり方を考える。	オンデマンド	指定課題に取り組み提出する	4	
15	子どもの未来と社会②: これまでの学習内容を振り返り、子ども家庭福祉の視点を整理する。	オンデマンド	指定課題に取り組み提出する	4	
試					

【2026 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	0	0	0	100	100
総合力指標	知識・技術力	0	0	0	0	20	20
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	20	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	20	20
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	20	20
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	20	20
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	本授業の評価は、オンデマンド授業の受講と各回の確認課題の実施を出席としてカウントする。確認課題は、選択問題の小テストによる理解度確認と、学びや気づきを記述する振り返りで構成する。評価はこれらの取組状況を総合して判断する。なお、課題は授業内容に基づくため、必ず受講後に取り組むこと。				Teams 内で適宜フィードバックする。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	なし。						
教員の実務経験	子ども家庭福祉分野で6年の実務経験を有する。						
実践的授業の内容	実務経験を踏まえ、子どもを取り巻く家庭や社会課題について具体的事例を用いて理解を深め、多角的な視点から考察する力を養う。						
そ の 他	・オンデマンド授業は4月・9月の学部が指定した履修登録・変更の期間に加えて、履修登録（追加）できる時期があります。学科の案内に従って、履修登録して下さい。なお、履修（学修）の完遂期限は共通です。履修登録が後になるほど、学習時間が詰め込みになりやすいので、主体的に学修計画を立て、望んで下さい。 ・「健康科学大学オンデマンド授業運用規程」に基づき、授業内で提供された全ての内容は、担当教員の許可なく、第三者への公開や個人での複製等が禁じられています。これに違反した場合、学則に基づき、懲戒処分を受ける可能性があります。						